

農林水産省・文部科学省後援

合格への
必須
アイテム

2023年版

日本農業技術検定 過去問題集

日本農業技術検定協会

事務局 一般社団法人
全国農業会議所 編



2級

試験問題2回分
(2022年度)
を収録

はじめに

日本の農業は、世界の食料需給や農産物貿易が不安定化するなかで、将来にわたって食料生産を維持・発展させることへの期待が高まっています。また、国土や自然環境の保全、文化の伝承など多面的機能の発揮についても、その促進が図られています。

こうした役割を担う農業にやりがいを持ち、自然豊かな環境や農的な生き方に魅力を感じて、さらにビジネスとしての可能性を見出して、新規に就農する人や農業法人、農業関連企業等に就職して意欲をもって活躍する人たちは少なくありません。

自然を相手に生産活動を行う農業や農業に関連する職業に携わるには、農業の知識や生産技術をしっかり身につけることが重要になります。日々変化し発展する農業技術を有効に活用するためには、農業についてのしかるべき知識や技術の理解が必要不可欠です。

日本農業技術検定は、農林水産省と文部科学省の後援による、農業系の高校生や大学生、就農準備校の受講生、農業法人など農業関連企業の社会人を対象とした、全国統一の農業専門の検定制度です。就農を希望する人だけでなく、学業や研修の成果の証として、またJAの職員など農業関係者によるキャリアアップのための取り組みをはじめ、農業の知識や技術を身につけるために受験活用されています。毎年2万人を超える受験者がチャレンジをして、これまでの受験者累計は34万人に達しています。

本検定の2級試験は「農作物の栽培管理等が可能な基本レベル」で、3級よりも応用的な専門知識や技術を評価します。5択式のマークシートになり、選択科目も6科目（作物、野菜、花き、果樹、畜産、食品）に広がり、内容的にも高度になります。本書で過去問題を点検して、本検定の「2級テキスト」で内容をしっかりと確認しながら勉強されることをお勧めします。2級を受験して農業知識や生産技術のレベルアップを図り、その修得した能力を就農や進学・就職に役立ててください。

2023年4月

日本農業技術検定協会
事務局・一般社団法人 全国農業会議所

◆◆CONTENTS◆◆

はじめに

本書活用の留意点

日本農業技術検定ガイド

1 検定の概要	2
2 勉強方法と試験の傾向	6
3 出題領域	8

2022年度 第1回 試験問題

2022年度 第2回 試験問題

解答・解説編 (別冊)

解答一覧	2
2022年度 第1回 解説	4
2022年度 第2回 解説	36
解答用紙	67

2022年度 第1回（7月9日実施）

日本農業技術検定 2級 試験問題

- ◎受験にあたっては、試験官の指示に従って下さい。
指示があるまで、問題用紙をめくらないで下さい。
- ◎受験者氏名、受験番号、選択科目の記入を忘れないで下さい。
- ◎問題は全部で50問あります。1～10が農業一般、11～50が選択科目です。
選択科目は1科目だけ選び、解答用紙に選択した科目をマークして下さい。
選択科目のマークが未記入の場合には、得点となりません。
- ◎すべての問題において正答は1つです。1つだけマークして下さい。
2つ以上マークした場合には得点となりません。
- ◎試験時間は60分です（名前や受験番号の記入時間を除く）。

【選択科目】

作物	p.22～33
野菜	p.34～47
花き	p.48～60
果樹	p.61～76
畜産	p.77～87
食品	p.88～99

解答一覧は、「解答・解説編」（別冊）の2ページにあります。

日付			
点数			

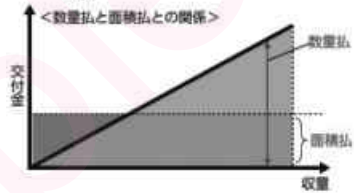
農業一般

1

次の図で説明している農業政策の名称として、最も適切なものを選びなさい。

- ①米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）
- ②畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）
- ③農業経営の収入保険制度
- ④人・農地プラン
- ⑤農業共済制度

数量払：生産量と品質に応じて交付
面積払：当年産の作付面積に応じて、数量払の先払いとして交付



2

わが国の野菜の輸入量（2021年）で最も多いものはどれか、適切なものを選びなさい。

- ①カボチャ
- ②キャベツ
- ③ジャガイモ
- ④タマネギ
- ⑤トマト

3

食品の品質保証に関連するおもな法律のうち、食品に起因する危害発生を防止することが目的で、安全性の面から食品が満たすべき条件を規定した法律として、最も適切なものを選びなさい。

- ①食品安全基本法
- ②消費者基本法
- ③食品衛生法
- ④景品表示法
- ⑤不正競争防止法